

第25回 宮崎「橋の日」イベント写真報告



平成23年は、活動25周年の節目の年。「橋の日」イベントには戸敷宮崎市長を始め、国土交通省宮崎河川国道事務所大脇所長からもご挨拶いただきました。8月19日（金）には、宮崎市民プラザ オルブライトホールにて「橋を通じた地域づくりシンポジウム」を開催。地域づくりへの具体的な活動への取り組みや課題について報告がなされた。また、初代橋橋を架けた福島邦成邸の移築保存運動にも協力しました。



「橋」への感謝を込めて献花



天満橋～橋橋を巡る清掃活動



5つの観測点で温度が「2℃」下がった打ち水



笑顔いっぱい♪

福島邸移築保存へ

6月26日（日）福島邸見学会を開催。パネル展や福島邦成の紙芝居を実演。前日150名+当日793名、合計943名の参加者。名残を惜しむ声が沢山聞かれました。



紙芝居



雨の中にも係わらずたくさんの方々が来場



橋を通じた地域づくりシンポジウム開催



「橋を通じた地域づくりシンポジウム」が19日、320名の参加者を迎え盛会のうちに終了。東京の「日本橋」は、石橋として架橋100周年。福岡の「名島橋」は、昨年喜寿（77歳）。「夢見橋」のある日南市は、今年から「橋の日」をスタート。そして地元「橋橋」は初代橋橋を架けた福島邦成の居宅であった築300年の福島邸の移築が決まったばかりと、各講演者ともタイムリーな話題でした。

古民家「福島邸」解体工事始まる
宮崎市

一部の移築保存が決まった宮崎市中村西十丁目にある築300年の古民家「福島邸」の解体工事が始まる。解体は「解体びっし」といふ気持ちはある。しかし一部でも保存が可能になったのは、有志の方々の支のおかげ。感謝してもきれない話だ。

今後は屋根や移築しない部分を先行して解体し、9月中旬に家屋を現在の場所から撤去する見込み。来年の夏までに南園地への移築を目標としている。

福島邸は1777（享保22）年に建てられたとされる。管理の負担を理由で取り壊しが決まっていたが、6月の見学会で解体を惜む声が多かったことなどから、一部が移築保存される見込みが直された。

宮崎日日新聞 2011.8.22



◎ 橋の日実行委 25周年シンポジウム

宮崎「橋の日」実行委員会（日高孝会長）は、活動25周年を記念して「橋を通じた地域づくりシンポジウム」を宮崎市の市民プラザでこのほど開いた。

名橋「日本橋」保存会（東京都）の永森昭紀事務局長が「日本橋架橋100周年を迎えて」と題し講演。同橋では春秋に祭りが開かれ、夏には1600人が参加する大規模な清掃活動が行われるなど住民の地域活動の拠点になっていることを説明。そのほか、名島橋（福岡市）、夢見橋（日南市）を通じた地域づくりについての話もあった。

日高会長は「橋との触れ合いを通じ地域への思いを深める運動がさらに広がるよう活動を展開したい」と話した。